令和８年度事業計画

１　令和８年度当初予算額　272,325 千円　（令和７年度　1,082,517 千円）

(1)　青少年費

ア　青少年センター費

事業名	予算額	説　　明
青少年センター維持管理費	千円 218,382	青少年センターの維持管理を行うとともに、青少年センターの広報活動としてチラシ・ポスター等を作成配布する。
青少年科学活動推進事業費	5,406	○　科学活動普及・啓発事業費 青少年の科学体験活動を支援するため、青少年の科学に対する興味・関心を広く喚起する科学活動啓発事業や、地域における科学体験を支援する事業、ものづくりや工作の喜びを知ってもらう事業を、県内各地で実施する。 また、インクルーシブ教育の視点からフリースクール等への依頼型科学体験教室の実施や、アシスタント等を活用した多様な子どもたちに対応できる事業実施体制を構築する。 ○　科学技術系人材育成事業費 科学や技術に進んで関わろうとする青少年の人材を育成するため、小学生から高校生を対象とした課題探究型やキャリア育成系の事業を実施する。 また、青少年の科学体験を支援できる指導力を持った人材を養成するため、地域で活躍する科学体験活動指導者の育成や教員、教員志望大学生に向けた理科教育講座を実施する。 ○　科学活動情報発信事業費 青少年の科学体験活動を促進、支援するために、様々な科学情報を科学部ホームページで発信する。 ○　先端科学連携体験事業費 青少年センターの機能充実・強化の一環として、研究機関や民間企業などと連携し、先端の科学に触れる機会としてカナラボ（先端科学企業等体験会）を拡充する。
演劇活用青少年支援事業費	522	不登校、ひきこもり等の問題を有する方を対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを実施する。 放課後子ども施設の指導員や教員を対象に、演劇の手法を活かした子どもとの関わり方を学ぶ研修事業を実施する。
ひきこもり等相談関係事業費	37,645	ひきこもり地域支援センター、子ども・若者総合相談センターにおいて、ひきこもり、不登校、非行等困難を有する方やその家族を対象とした相談窓口の開設や、ひきこもり問題に取り組むＮＰＯ支援、地域における理解促進を通じて、当事者の社会的自立を促進。 加えて、複合的な課題として象徴的な８０５０問題をはじめとする中高年のひきこもり支援等、より地域に密着したひきこもり支援に取組む市町村等の後方支援機能も担う。 【ひきこもり地域支援センター事業】 ○　相談関係事業費 専門の相談員のほか、ＮＰＯ相談・支援アドバイザーとスーパーバイザーを配置し、相談窓口の運営、相談員研修会等の実施、ＮＰＯや公的機関との意見交換会の開催を通じて相談体制の充実を図る。 ○　ＮＰＯ支援事業費

事業名	予算額	説　　明
		ＮＰＯ等の活動に必要な場や機器の提供、情報コーナーの開設等で、場・情報・人材の面で支援する。 ○　啓発・研究事業費 ひきこもり等に悩む方や家族、関係者及び県民に広報、啓発を行い、地域における関係団体、機関等のより一層の連携強化を図り、相談や地域サポート体制の適切な対応を探る。 ○　地域理解促進事業費 ひきこもり等の問題に取り組む団体の発展を促すため、または地域住民への理解・啓発を促すため、各地域で団体が自主的に取り組む研修会や講演会等の講師費用を支援する。 【ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業】 ○　多職種支援チーム 精神科医、弁護士、臨床心理士、精神保健福祉士を配置し、市町村等が対応している事案を連携会議やケース検討会議により検討し、市町村等に対して助言等を行う。 ○　市町村等支援員 市町村等ひきこもり支援関係機関への後方支援のため、助言や相談対応等を行う。 ○　訪問相談支援員 精神保健福祉士を配置し、ひきこもりの長期化や高齢化等、困難ケースへの対応を含めた訪問支援を強化する。ノウハウの乏しい市町村等職員に同行して、当事者の住居までアウトリーチ支援を実施する。 ○　ひきこもり支援に携わる人材の養成研修 ひきこもり支援人材養成のための様々な研修を開催する。 ○　ひきこもりピアサポート事業 ひきこもり当事者の視点で相談助言等を行う「かながわbeフレンド事業」の研修や市町村への派遣のほか、ひきこもり当事者のための居場所やひきこもり支援の理解・啓発を目的としたフォーラム・講演会、家族セミナーを市町村と連携して開催する。 ○　社会参加支援事業 居場所事業の一つとして社会参加に必要なコミュニケーションを学ぶセミナーや有償ボランティアの機会を提供し、ここで自己効力感を高め、若者サポートステーションや社会参加へとつなげていく。 ○　支援調整業務 ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業全般（多職種支援チーム、市町村等支援員、訪問相談支援員、研修事業等）における支援調整を行う。
フリースペース等相談事業費補助	7,500	ひきこもり、不登校、非行等困難を有する方が安心できる多様な居場所としてのフリースペース等を運営するＮＰＯ等が実施する相談事業に対して助成する。
小　　計	269,455	

イ　青少年健全育成費

事業名	予算額	説　　明
青少年支援・指導者育成推進事業費	千円 1,803	青少年の多様な体験学習および主体的な参画を促進し、社会的自立を支援する上で中心的な役割を果たす青少年支援・指導者を育成するための研修等を実施し、人材育成を図り、その活動支援をする。 青少年センターで実施した各分野の研修受講生を対象に、実際に指導する機会を提供し、指導経験を積むことで知識や技術のスキルアップを図り、体験活動を推進する人材育成を図る。
地域活動人材育成事業費（一部）	218	地域における青少年の健全育成を推進するため、地域組織や活動を活発に展開するとともに、子ども会活動の活性化を図る。
青少年行政総合推進費（一部）	849	「中学生の主張 in かながわ」事業として、次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につけることを目的に、作文コンクールとその発表大会を行う。 かながわ子ども・若者総合相談センターの運営にあたり、総合相談の機能を十分に発揮するため、外部の専門家を招きスーパービジョンを実施する。また、県民を対象に、子ども・若者の問題について考える講演会を実施する。
小　　計	2,870	

合　　計	千円 272,325	予算額には、他所属で執行するもの（電気代等）も含む。

２　主要事業の概要

〔全体事業体系〕

⑴　全館事業

ア　広報活動事業

イ　青少年センター子どもフェスティバル

⑵　青少年の体験学習を推進する人材の育成

ア　青少年支援・指導者育成推進事業

(ｱ)　青少年支援・指導者の育成

(ｲ)　青少年育成のための実践的調査研究

(ｳ)　青少年支援・指導者、団体等への支援

(ｴ)　青少年指導者養成推進

イ　地域活動人材育成事業

(ｱ)　子ども会大会

(ｲ)　元気な子ども・若者の地域活動調査事業

ウ　青少年行政総合推進事業

(ｱ)　「中学生の主張 in かながわ」

(ｲ)　子ども・若者を理解するための講演会

(ｳ)　困難事例における専門家（スーパーバイザー）の助言指導

⑶　ひきこもり、不登校や非行等への対応

ア　ひきこもり地域支援センター事業（子ども・若者総合相談事業を含む）

(ｱ) 相談関係事業

(ｲ) ＮＰＯ支援事業

(ｳ) 啓発・研究事業

(ｴ) 地域理解促進事業

イ　ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業

(ｱ) 多職種支援チーム

(ｲ) 市町村等支援員

(ｳ) 訪問相談支援員

(ｴ) ひきこもり支援に携わる人材の養成研修

(ｵ) ひきこもりピアサポート事業

(ｶ) 社会参加支援事業

(ｷ) 支援調整業務

ウ　舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業

エ　フリースペース等相談事業費補助

⑷　青少年の科学体験活動の促進支援

ア　科学活動普及・啓発事業

(ｱ)　青少年科学活動啓発事業

(ｲ)　青少年科学体験支援事業

(ｳ)　ものづくり子どもサイエンス事業

イ　科学技術系人材育成事業

(ｱ)　青少年科学人材育成事業

(ｲ)　科学体験指導者育成事業

(ｳ)　理科教育人材育成事業

ウ　科学活動情報発信事業

(ｱ)　科学情報発信

(ｲ)　科学相談

エ　先端科学連携体験事業

(ｱ)　先端科学企業等体験会（カナラボ）

(ｲ)　青少年のためのロボフェスタ 2026

(5)　青少年や県民の舞台芸術活動への支援

ア　共催・後援事業

イ　ホール等の運営

以下の事業は平成 30 年度から文化課へ移管し、実施している。

ア　青少年舞台芸術活動推進事業

(ｱ)　児童文化活動推進事業

(ｲ)　青少年舞台芸術等鑑賞事業

(ｳ)　演劇舞踊等創造活動事業

(ｴ)　舞台表現エンパワーメント･プロジェクト

(ｵ)　演劇活用青少年支援事業

(ｶ)　舞台芸術を活用した青少年活動支援事業（公演）

イ　青少年舞台芸術活動推進事業（機能強化）

(ｱ)　マグネット・カルチャー推進強化事業

(ｲ)　ステップアップ公演事業

ウ　マグネット・カルチャー推進事業

(ｱ)　マグカルシアター

エ　伝統芸能等普及振興事業

〔事業内容〕

（１）全館事業

事業名	説　明
ア　広報活動事業	青少年センターの催し物の案内ポスター、チラシを作成配布する。 発行：４回
	フェイスブックと Instagram のページにより、青少年センターの魅力を発信し、新たな利用者層を開拓する。 アドレス：https://www.facebook.com/kanagawa0230 https://www.instagram.com/kanagawa0230
イ　青少年センター子どもフェスティバル	子どもたちに多様な体験の場を提供するため、子どもフェスティバルを開催する。

（２）青少年の体験学習を推進する人材の育成

区分	事業名	内　容	対象者
ア　青少年支援・指導者育成推進事業			
(ｱ) 青少年支援・指導者の育成	地域応援事業（市町村・団体協働事業）	地域で行っている青少年活動の活性化を図るために、市町村等と協働で研修を実施する。(日帰り10回程度)	地域活動に関わる又は興味のある方
	青少年指導員セミナー	地域県政総合センター等と共催で青少年指導員として地域で活動するための知識や技術を身につける。各地域の実状や要望に合わせたテーマを設定し実施する。(日帰り４回)	青少年指導員
	NEALリーダー養成セミナー	県内のフィールドを活用し、安全で楽しい野外活動を展開するために必要とされる基礎的な知識や技術を学ぶ。受講後は、全国体験活動指導者認定委員会から「自然体験活動指導者（NEAL）」の資格が認定される。（日帰り１回、１泊２日１回）	青少年支援・指導者、教員、学生、NPO団体スタッフ等
	子どもの体験活動をすすめる指導者セミナー〈子どものやる気を引き出すコーチング編〉	臨床心理学、発達心理学、教育学などの研究成果を基盤として、子どもとの円滑なコミュニケーションを図るための会話トレーニングを行う。（日帰り１回）	青少年支援・指導者、教員、学生、NPO団体スタッフ等
	体験学習プログラムセミナー	子ども・若者のコミュニケーション能力や生き抜く力の向上をめざし、コミュニケーションの技法やアイスブレイキング等の多様な体験やワークショップを通して、青少年支援・指導者の総合的なスキルアップを図る。(日帰り４回)	青少年支援・指導者、教員、学生、NPO団体スタッフ等
	子ども施設指導員セミナー	子ども施設（児童館等）の指導員向けに、子ども・若者が自ら成長するために必要な知識・技術の習得と能力の向上を図る。(日帰り６回)	青少年育成施設及び類似施設の職員

区分	事業名	内　容	対象者
	リードアップセミナー	新規青少年行政関係職員等を対象に、効果的な業務遂行に必要な基礎的知識と技能の向上を図り、お互いのネットワークづくりをする。（日帰り２回＋１泊２日１回）	新転入青少年行政関係職員、青少年関係団体職員、NPO団体スタッフ等
	ユースボランティアセミナー	地域で活動しているジュニア･リーダーや、青少年施設、子ども施設の職員等の社会人を対象に、様々な体験を通して、野外活動、レクリエーション活動の知識や技術を習得し、地域や学校等で活躍できるボランティアの育成を図る。（日帰り１回＋１泊２日１回）	子どもと関わりのある又は関わろうとしている中学生以上の若者（30歳未満）
	イベントボランティアセミナー	イベントの企画・運営方法を学び、実際に「青少年センター子どもフェスティバル」の企画・運営を体験することで、リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指す。（日帰り６回）	県内のジュニア・リーダー（高校生以上）
	キャンプ活動セミナー	レクリエーションや野外活動を通して、子どもとの人間関係づくりや子どもとの関わり方を学ぶ。（日帰り1回＋１泊２日）	子どもと関わりのある又は関わろうとしている大学生年代の若者（30歳未満）
	子どもキャンププロジェクト	子ども対象のキャンプを一から企画し、宿泊プログラムの企画・運営や子どもへの接し方、安全管理などを学ぶ。実際に１泊２日の宿泊キャンプで小学生を対象に企画と運営を体験することで、リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指す。（日帰り５回、２泊３日１回）	子どもと関わりのある又は関わろうとしている大学生年代の若者（30歳未満）
	コミュニケーションスキルアップセミナー	即興演劇の手法を使ってコミュニケーション能力や表現力の向上を図る「インプロプログラム」を体験し、人間関係づくりや子どもとの関わり方を学ぶ。（日帰り１回）	子どもと関わりのある又は関わろうとしている中学生以上の若者（30歳未満）
	人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」	指導者育成課の研修受講生を対象に、市町村や協力団体の実施する事業に講師として派遣し、実際の現場での指導を通して、知識や技能のスキルアップを図る機会を提供する。（日帰り５回程度）	青少年センター研修受講生
	インターンシップ、社会体験研修受入れ等	現職教員の社会体験研修、学生の社会教育実習、インターンシップ等を受け入れ、青少年支援・指導に通じた人材の育成を図る。	教職員、学生等
(ｲ)青少年育成のための実践的調査研究	支援・指導の現場で活かせるレシピの作成	青少年活動に役に立つマニュアル・手引を作成する。開発プログラムについて必要があれば報告書・マニュアル等を作成し、普及を図る。	－
	取材・アンケート実施	研修後に事業評価を行い、改善につなげるとともに、研修実施報告書にまとめ関係機関へ提供する。	－

区分	事業名	内　容	対象者
(ｳ) 青少年支援・指導者、団体等への支援	青少年資料室の運営	青少年に関わる文献・資料・報告書等の整備、及び活動場所等についての情報の収集と提供を行う。	青少年支援・指導者、団体
(ｴ) 青少年指導者養成推進	神奈川県青少年指導者養成協議会	総会、担当者会議等を開催し、青少年支援・指導者の育成及び活動の効果的推進と、県・市町村・青少年団体の連携強化を図る。	県、市町村、青少年関係団体
	調査	青少年支援・指導者の活動状況及び育成事業実績調査を実施する。	
イ　地域活動人材育成事業			
(ｱ)子ども会大会	―	子ども会活動の発展に資することを目的として県子ども会大会を開催する。	子ども会関係者、一般
(ｲ)元気な子ども・若者の地域活動調査事業	―	子ども・若者に関わる地域活動について、先進的な事例を取材・調査し、その成果を指導者・育成者、リーダー層の研修事業等で活用する。(随時)	ジュニア・シニア・リーダー等の高校生以上の若者
ウ　青少年行政総合推進事業			
(ｱ)中学生の主張 in かながわ	中学生の主張 in かながわ	次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につけることを目的に、作文コンクールとその発表会を行う。	県内に在住又は在学の中学生
(ｲ) 子ども・若者を理解するための講演会	子ども・若者を理解するための講演会	子ども・若者が直面する問題への理解を深め、地域や関係機関における取組みの促進を図るため講演会を開催する。	県民
(ｳ) 困難事例における専門家（スーパーバイザー）の助言指導	困難事例における専門家（スーパーバイザー）の助言指導	電話あるいは来所相談における困難事例について、専門家である精神科医による助言指導を実施する。	当センター専門相談員、ＮＰＯ法人等相談担当者

(3)ひきこもり、不登校や非行等への対応

区分	事業名	内　容	対象者
ア　ひきこもり地域支援センター事業（子ども・若者総合相談事業を含む）			
(ｱ)相談関係事業	かながわ子ども・若者総合相談センター、神奈川県ひきこもり地域支援センターの運営	子ども・若者育成支援推進法に基づく「かながわ子ども・若者総合相談センター」と、厚生労働省の「ひきこもり地域支援センター等設置運営事業」により設置した「神奈川県ひきこもり地域支援センター」を一体として運営し、ひきこもり、不登校、非行等困難を有する方や家族等からの多様な相談（電話・面接）に対応し、本人の社会参加の促進を図る。	県民

区分		事業名	内　容	対象者
		県西部地域相談事業(県西部青少年サポート相談室（県西部ひきこもり相談窓口）)	ＮＰＯと協働で県西部地域に相談窓口（電話・面接）を開設し、ひきこもり、不登校、非行等困難を有する方や家族等からの相談に応じる。	県民
		地域青少年相談窓口	ＮＰＯと協働で県域に相談窓口（電話・面接）を開設し、ひきこもり、不登校、非行等困難を有する方や家族等からの相談に応じる。	県民
		事例検討	週１回、相談員が全員で相談ケースの検討を行う。	当センター専門相談員、ＮＰＯ法人等相談担当者
		スーパーバイザーによる事例検討・相談員個別相談（SV）	複雑、困難な相談ケースについて、臨床心理士を加えた検討会を実施する。 また、臨床心理士による相談員との個別相談（SV）を実施する。	当センター専門相談員、ＮＰＯ法人等相談担当者
		職員研修	電話相談が終了した後の１時間で、ミニ講座と称して相談業務に必要と思われる関連する事業について講師を呼んで研修を実施する。	青少年サポート課職員
		相談員研修	県内でひきこもり、不登校、非行等困難を有する方等への相談支援を行う相談員を対象に相談技術の向上等のための研修を実施する。	行政職員・ＮＰＯ職員等
	(ｲ)ＮＰＯ支援事業	ＮＰＯの活動に必要な場や機器の提供（ＮＰＯ支援スペース）	ひきこもり、不登校、非行等で悩む方や家族のサポートに取り組むＮＰＯや家族会等への活動支援として、打合せや活動等に利用できる場、印刷機・紙折り機を利用できる場を提供する。	当センターのデータベースに登録されている県内ＮＰＯ等支援団体
		ＮＰＯ運営支援情報の提供	ＮＰＯ相談・支援アドバイザーを配置し、ＮＰＯの立ち上げ、組織の運営や財務等に関する情報提供や相談を行う。	ＮＰＯ等支援団体
		フリ・フリ・フェスタ	ひきこもり・不登校支援を行う団体による、実行委員会形式の交流イベント。 ひきこもり、不登校についての理解の普及、啓発を促進する。	ＮＰＯ等支援団体・県民
	(ｳ)啓発・研究事業	ひきこもりを考える地域支援フォーラム・講演会、家族セミナー	ひきこもりへの正しい理解・啓発を目的とし、県民を対象としたフォーラム・講演会、ひきこもり当事者の家族に対するセミナー等を主催、または市町村と共催する。	ひきこもりに関心のある県民、ひきこもり当事者の家族
		相談窓口紹介カード作成・配布	県内の全児童・生徒等にかながわ子ども・若者総合相談センターや県総合教育センター、児童相談所等の相談窓口の電話番号等を掲載したカードを配布する。	県内の小・中・高校・特別支援学校に在籍する全児童・生徒等

区分		事業名	内　容	対象者
		相談窓口案内リーフレット等の配布	相談窓口の案内リーフレット等を配布する。 ひきこもり当事者、家族向けにパンフレットを配布する。	県民、研修参加者等
		ひきこもり支援に関わる小冊子の作成・配布	ひきこもりで困っている当事者、家族向けに小冊子を作成し、配布する。	県内（市町村）に配布（配布先未定）
		関連情報の提供	ひきこもり、不登校、非行等に悩む方々やその支援を行うＮＰＯ等に、相談や団体の活動状況等の情報を相談窓口、情報コーナー、ホームページ等で紹介、提供する。	県民、ＮＰＯ等支援団体
	(ｴ)地域理解促進事業	ひきこもり等地域理解促進事業	ひきこもり等の問題に取り組む団体の発展を促すため、または地域住民への理解・啓発を促すため、各地域で団体が自主的に取り組む研修会や講演会等の講師費用を支援する。	ＮＰＯ等支援団体
イ　ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業				
	(ｱ)　多職種支援チーム	連携会議、ケース検討会議の実施及び助言	精神科医、弁護士、臨床心理士、精神保健福祉士による多職種支援チームが、市町村等が対応している事案を連携会議、ケース検討会議により検討し、助言等を行う。	市町村等
	(ｲ)市町村等支援員	市町村が実施する支援等に関する相談支援	市町村等ひきこもり支援関係機関への後方支援のため、助言や相談対応等を行う。 ※ひきこもり支援市町村連携会議での対応含む。	市町村等
	(ｳ)訪問相談支援員	訪問支援	精神保健福祉士を配置し、ひきこもりの長期化や、高齢化等の困難ケースへの対応を含めた訪問支援を強化する。ひきこもり支援のノウハウが乏しい市町村等職員に同行し、アウトリーチ支援を行う。	市町村等
	(ｴ)ひきこもり支援に携わる人材の養成研修	ＮＰＯスタッフ研修	ＮＰＯ等の日常活動や組織運営に必要な知識や技能を学び、日ごろの対応や悩み等を話し合える研修会を開催する。	ＮＰＯ等支援団体
		ひきこもり・不登校の子ども･若者を支えるためのボランティア育成研修	不登校・ひきこもり等に悩む方の支援に関する基礎知識を学び、グループワーク等で意見交換を行う等、ＮＰＯ等で活動する人材の育成を促す。	支援活動に関心のある県民
		市町村向けピアサポーター研修	市町村と連携し、各地域にひきこもりピアサポーターを養成するための研修を行う。	ひきこもり当事者、行政職員
		市町村ひきこもり支援新任担当者勉強会	新たにひきこもり支援に関する業務に就く職員や経験の浅い職員を対象に勉強会を行う。	市町村等

区分		事業名	内　容	対象者
	(ｵ)ひきこもりピアサポート事業	かながわbeフレンド（ひきこもり相談補助員）事業	ひきこもり当事者等が、一定の研修を受講した後、専門相談員及びＮＰＯ相談・支援アドバイザーの助言・指導のもと、面接に同席し、ひきこもりに悩む家族等の相談を補助する。また、ひきこもり当事者のための居場所のスタッフとして活動するほか、地域で開催する家族セミナー等において体験談を語るなどの啓発活動を実施する。	ＮＰＯ団体等から推薦を受け、研修を修了した者、かながわbeフレンド経験者
		ひきこもり当事者のための居場所事業	市町村と連携し、地域巡回型でひきこもり当事者の外出のきっかけとなる場として居場所を開催する。	ひきこもり当事者
		ひきこもる家族を持つ親・きょうだいの集い	ひきこもり当事者の家族等を対象とし、同じような立場の参加者同士で近況を語り合ったり、情報交換したりする場を市町村と連携し、開催する。	ひきこもり当事者の家族等
	(ｶ)社会参加支援事業	コミュニケーション講座	主に県や市町村、ＮＰＯの居場所等に参加している方を対象に、居場所のほかにも外出のきっかけとなるよう、セミナー型の居場所としてコミュニケーション講座を開催する。	居場所等に参加している方
		有償ボランティア	主に県や市町村、ＮＰＯの居場所等に参加している方を対象に、人の役に立つ経験とその対価を得る経験を積むための有償ボランティアの機会を提供する。	居場所等に参加している方
	(ｷ)支援調整業務	支援調整業務	ひきこもり支援市町村連携会議の実施等、地域支援センター市町村等支援機能強化事業全般における支援調整を行う。	市町村、多職種支援チーム、市町村等支援員、訪問相談支援員、かながわbeフレンド、ＮＰＯ相談・支援アドバイザー
ウ　舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業				
		舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業	不登校、ひきこもり等困難を有する方を対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを実施する。	ひきこもり当事者、市町村等
エ　フリースペース等相談事業費補助				
		フリースペース等相談事業費補助	地域でフリースペース等を展開し、ひきこもり、不登校等に関する相談を受けるＮＰＯ等の活動を促進するため、相談事業を実施するＮＰＯ等支援団体に対して、補助金を交付する。	フリースペース等を運営し、相談事業を行うＮＰＯ等

（4）青少年の科学体験活動の促進支援

区分	事業名	内　　容	対象者
ア　科学活動普及・啓発事業			
(ｱ) 青少年科学活動啓発事業	子どもサイエンスフェスティバル	科学の不思議や楽しさを実感できる実験や科学工作ブースによるイベントを、県内４か所で開催する。	青少年 一般
	青少年のための科学の祭典2026神奈川大会	小学生向けに、科学の不思議さや楽しさを実感できる、実験・科学工作を行うブースによるイベントを開催する。８月９日(日)開催予定。	青少年 一般
	星空教室	月や惑星、星等を天体望遠鏡を使用して観察する教室を実施する。年間 16 回実施予定。	小学生 以上
	科学講演会	青少年科学体験活動推進協議会総会にあわせて、共催・講演可能な場合、研究者等による講演会を実施する。	青少年 一般
	日本学生科学賞神奈川県作品展	県内中学生・高校生の研究作品コンクールの神奈川大会を支援し、作品展を１週間程度開催する。10月開催予定。	青少年 一般
	神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会	神奈川県高等学校文化連盟加盟の理科部による研究発表会の開催を支援する。11月開催予定。	青少年 一般
	神奈川県工業高等学校生徒研究発表会	神奈川県立工業高等学校の生徒研究発表会の開催を支援する。１月開催予定。	青少年 一般
(ｲ) 青少年科学体験支援事業	かながわリレー科学教室	子ども科学講座として、おもしろ実験・科学工作教室を県内７か所で７回開催する。	小学生
	依頼型科学教室	学校、市町村教育委員会、公民館等からの依頼により、おもしろ実験、子ども科学講座や星空教室、ロボットプログラミング講座を県内各所で開催する。また、インクルーシブ教育の視点からフリースクール等への依頼型科学体験教室の実施や、アシスタント等を活用した多様な子どもたちに対応できる事業実施体制を構築する。	主に小学生
	ロボットプログラム	コンピュータで自律型ロボットのプログラミングを学び、習熟度別にプログラミング技術、課題解決力、論理的思考力の育成課題に挑戦する講座を開催する。合計 22 回（12 日）実施する。	小学生 中学生
	自然観察会	県内４か所で、動植物や地形の自然観察方法を学ぶとともに、環境保護施設等の見学を４テーマ５回実施する。	小学生以上
	科学体験教室	身近に起こる科学現象のしくみや性質を、体験しながら学ぶ講座を 18 回（11 日）実施する。	小学生 中学生
(ｳ) ものづくり子どもサイエンス事業	プチロボで競走しよう	工作キットからプチロボを自作し、指定コースで競走するコンテストを県内８か所（９回）で開催する。	小学３～６年生
イ　科学技術系人材育成事業			
(ｱ) 青少年科学人材育成事業	小学生科学研究クラブ	自分でテーマを決めて研究し、発表までを行うクラブを５回開催し、研究方法や発表の指導・支援を行う。	小学４～６年生
	子ども科学探検隊	県内の科学館・研究施設・大学等において、科学の不思議・ものづくりの感動を体験・見学する講座を 21 回実施する。	小学３～６年生
	中高生サイエンスキャリアプログラム	県内の大学・企業・科学館等を訪問し、施設見学や研究者・技術者との交流を通して、科学への関心を高め、技術者・研究者としての職業観を育成する講座を 18 回実施する。	中学生 高校生

		高校生天体観測講習会	天文観測機材の扱い方および観測についての基礎実習を通じて、天文への興味・関心を育てる講座を３回実施する。	高校生
		高校生科学ボランティア	ボランティアや子どもたちとの活動に関心のある高校生が、科学体験事業等を通して行う活動を指導・支援する。応募者は科学部開催事業にアシスタントとして参加する。７月中旬開始。	高校生
	㈠科学体験指導者育成事業	おもしろ実験・科学工作指導者セミナー	実験や科学工作のノウハウを学ぶことを通して、子どもたちに科学の面白さを伝える指導者を養成する講座を、水曜コース・日曜コースとも全５回実施する。	一般
		天文研究クラブ	天文に関心のある一般の方を対象に、天体写真の撮影や画像処理等を学ぶ講座の実施や参加者の成果紹介および情報交換を６回実施する。	高校生以上 一般
	㈡理科教育人材育成事業	教員研修科学講座	現職教職員を対象に、科学実験・工作等の指導力を高める講座を実施する。１講座開講予定。	教職員
		依頼型教員研修科学講座	小中学校や市町村教育委員会からの依頼により、現職教員向けの科学実験・工作等の講座を、県内各地で実施する。	教職員
		小学校教員養成課程学生対象講座	小学校教員養成課程がある大学と連携し、理科実験・科学工作等の指導方法を学ぶ講座を実施する。	大学生
ウ　科学活動情報発信事業				
	㈠科学情報発信		青少年センター科学部の事業を広報するとともに、科学情報や資料等をホームページで提供する。	青少年 一般
	㈡科学相談		科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談に対応する。また、科学体験室での共同研究や青少年の科学体験用資材の貸出にも対応する。	青少年 一般
エ　先端科学連携体験事業				
	㈠先端科学企業等体験会（カナラボ）		企業や大学と連携し、参加者は、その研究分野の講義の受講や実験実習を体験する。４回開催予定。	高校生
	㈡青少年のためのロボフェスタ2026		企業・研究機関・大学・高校等による出展ブースで、ロボットの楽しさを体験する。11月29日（日）開催予定。	青少年 一般

（5）青少年や県民の舞台芸術活動への支援

区分	事業名	内　　容	鑑賞（参加）対象
ア　共催・後援事業			
	共催事業	青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、共催すること等により一層その成果を高めることができる事業を、共催者、後援者として実施する。	一般
	後援事業		一般
イ　ホール等の運営			
	ホール、多目的プラザ及び練習室の貸出し	県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供する。	一般

以下の事業は平成 30 年度から文化課へ移管し、実施している。

ア　青少年舞台芸術活動推進事業

(ｱ) 児童文化活動推進事業	かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル）・公演	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供する。	幼児･小学生、その保護者など
(ｲ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業	青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施する。	青少年及び一般
(ｳ) 演劇舞踊等創造活動事業	中･高等学校演劇発表会	中･高等学校を対象に、演劇の発表会を実施する。	中学生、高校生
	中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施する。	中学生
	中･高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供する。	中学生、高校生、及び教員
	青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施する。	中学生以上
	青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施する。	中学生以上及び教員
(ｴ) 舞台表現エンパワーメント･プロジェクト	演劇部お助け講座	中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施する。	中学校の演劇部
	青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	新しい舞台表現を習得するため地域や時代のニーズに合せた先端的なプログラムを集中的に実施する（（「ダンス編」、「戯曲づくり」の２プログラム）。	演劇部・ダンス部・人形浄瑠璃部等
(ｵ) 演劇活用青少年支援事業		不登校、ひきこもり等の問題を有する方を対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを実施する。 子ども施設の指導員や教員等を対象に、演劇の手法を活かした子どもとの関わり方を学ぶ研修事業を実施する。 ※指導者育成課、青少年サポート課との協力事業	ひきこもり当事者、青少年育成施設の職員等
(ｶ) 舞台芸術を活用した青少年活動支援事業（公演）		舞台芸術の創作を通じ、青少年の自己表現やコミュニケーション力、他者との協調性を伸ばすためのワークショップと成果発表を実施する。	県並びに市町村の関係機関、ＮＰＯ等支援団体、青少年

イ　青少年舞台芸術活動推進事業費（機能強化）			
	(ｱ) マグネット・カルチャー推進強化事業	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図る。	マグカルシアター参加団体等
	(ｲ) ステップアップ公演事業	マグカルシアターの上演団体に選出された団体の中から、特に優良な団体を対象としたステップアップ公演を実施する（今年度実施なし）。	青少年、一般
ウ　マグネット・カルチャー推進事業			
	(ｱ)マグカルシアター	紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術の世界に入るきっかけづくりとするとともに、舞台上にとどまらないコミュニケーション力、表現力、社会性を持つ人材の育成を目的として実施し、その成果を多目的プラザ（スタジオHIKARI）で発表する（５月から８月にかけて実施予定）。	参加：満15歳以上29歳以下
		マグカルシアター	演劇等の公演を行いたい個人・団体に、公演場所として多目的プラザ（スタジオＨＩＫＡＲＩ）を約１週間、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指す。	青少年、一般
		マグカル・ハイスクール演劇フェスタ	「神奈川県高等学校演劇発表会」で最優秀賞など優れた成績を修めた高校演劇を上演し、広く県民に紹介することで、学校演劇の発展向上と演劇文化の振興に資する。	青少年、一般
エ　伝統芸能等普及振興事業			
	かながわ伝統芸能祭	歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年･一般県民を対象に、歌舞伎を上演する。	青少年、一般
		人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年･一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演する。	青少年、一般
		かながわ伝統文化こども歳時記	地域の伝統文化に親しんでいただくことを目的に、子どもや親子を対象として体験型の企画を盛り込んだフェスティバル事業を開催する。	青少年、一般